

日刊

上伊那

# 長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

8月28日(金)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2020

自作した自走式マシンを走行させる駒工生



## 技術凝縮マシン“快走”

駒工 情報技術科3年タイム記録会

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)の情報技術科3年生は27日、自作した自走式マシンの走行

タイムを計測する記録会を開いた。36人がエントリー。3年間で培った技術を凝縮させ

たマシンの“快走”を願い、盛んにエールを送っていた。

マシンには小型コンピュータを搭載、コース上のラインの色の違いを車体に載せたセンサーが感知して自走する。

生徒たちは1、2年生の時に車体や電子回路基板などの製作に取り組み、3年で作動させるプログラムづくりに挑戦。

各自が、オリジナル車体の構造を踏まえ、走行時の安定感や速度などを考えながら、完成させた。

例年はトーナメント形式で行っているが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で時間を短縮。1人1回の真剣

勝負を繰り広げた。コースは全長約20mで、標準記録は1分ほど。急カーブなどの難所があちこちにあり、逆走したりコースアウトしたりして完走できないマシンも。

北原寛太さん(17)は完走し

たマシンを手に、「一から作り上げたマシンで完走できた。

プログラミングが難しかったけれど、頑張ったかいがあります」と笑顔。トップは、38秒66を記録した高野天地さんだった。(寺田英祥)